

コウノトリ文化館だより



サワオグルマとツバメシジミ

ホームページやSNSでリアルタイムの情報を発信しています。



4月のコウノトリ



4月になるとあちこちの巣塔でヒナが誕生します。この時期、親鳥は外敵だけでなく、気温からもヒナを守ります。寒い時には、ヒナを抱いて温めます。暑い時は、立って陰を作ってあげたり、水をかけてあげたりと非常にかいがいしく世話をします。巣材も新しい物を持って来て清潔に保ちます。見て飽きない子育てをご覧ください。

4月の郷公園

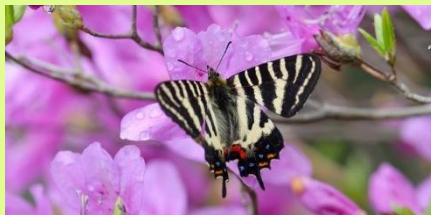


西ビオトープのサワオグルマに様々な昆虫が蜜を求めたり、休憩をしに来たりします。生きもの同士の関係を見るのも楽しいですね。

とよおかの生きもの 4月



キビタキ
春になると繁殖のために南から渡ってくる里山を代表する夏鳥。



ギフチョウ
早春の一時期だけ里山に現れるチョウ。春の女神とも呼ばれている。



ホソミオツネントンボ
成虫で越冬するトンボ。山沿いのビオトープでよく見かける。



アリアケスミレ
4月はスミレの月。里で葉が長くて花が白いのはアリアケスミレです。



タゴガエル(包接中)
溪流沿いにいます。繁殖期、雄は岩や苔の下でよく鳴きます。



ウグイ
豊岡ではイスと呼ばれます。春になると、赤と黒の鮮やかな婚姻色になります。

4月の行事

4月5日(日) 昆虫観察会

時間：9時30分～
参加費：無料
※要事前申込

4月12日(日) コウノトリ野鳥 観察会

時間：13時00分～
参加費：無料
※要事前申込

4月19日(日) 田んぼの学校 春のあぜ道 ～たんぼぼ満足～

時間：9時30分～
参加費：子ども100円
当日参加可能

4月26日(日) 植物観察会

時間：13時00分～
参加費：無料
※要事前申込

3月のトピックス

アカガエル調査 3/1

参加者16名 スタッフ5名

館内でアカガエルの説明をした後、2グループに分かれて園内の東側と西側のビオトープへ卵塊調査に出ました。現地で卵塊を観察後、区画一枚一枚の数を数えました。



小さな子どもたちは保護者の方のサポートを受けながらしっかり数えてくれました。1031個の卵塊が見つかりました。



コウノトリ野鳥観察会 3/8

参加者17名 スタッフ1名

まずはじめに、観察広場の最上部で、樹上のアオサギの観察をしました。続いて西ビオトープでアカガエルの卵塊も観察しました。



祥雲寺巢塔を見ながら東公開エリアへ向かい、コウノトリの飼育の話をしました。合計8種類の鳥を観察しました。



田んぼの学校 3/15

参加者27名 スタッフ5名

3月は早春のビオトープで生きもの探しでした。アカガエルの卵塊が沢山あり、オタマジャクシもふ化していました。



まだ水が冷たいですが、子どもたちは元気に走り回って採集をしていました。合計18種類の生きものが見つかりました。



植物観察会 3/22

参加者7名 スタッフ1名

奈佐川堤防で春の草花を観察しました。野生化したダイコンをはじめ、シロバナタンポポやノビル、ヤブカンゾウなどを見ました。



アブラナの花や葉のつき方などを詳しく観察しました。子ども達はアブラナの根を抜いていました。立派な根が出てきました。

豊岡市立コウノトリ文化館 (指定管理:NPO法人コウノトリ市民研究所)

開館時間／9:00～17:00 休館日／月曜日(祝日にあたるときはその翌日) 入館無料(環境協力金100円・任意)
〒668-0814 豊岡市祥雲寺127番地 TEL:0796-23-7750 FAX:0796-23-8005 <https://kounotoribunkakan.com>
コウノトリ文化館は兵庫県立コウノトリの郷公園内にある、豊岡市立の見学施設です。